



いばらき防犯ファイル R7 No.27

住宅侵入窃盗事件発生状況

令和7年5月末 561件(前年比+107件)※暫定値



● 手口別発生状況



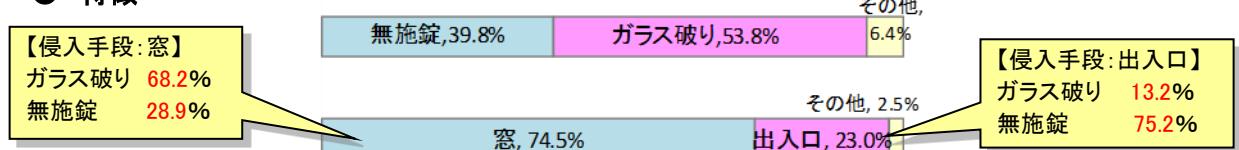
※【住宅侵入窃盗】

空き巣：家人等が不在の住宅の屋内に侵入し金品を盗むこと
忍込み：夜間家人等の就寝時に住宅の屋内に侵入し、金品を盗むこと
居空き：家人等が在宅中に住宅の屋内に侵入し、金品を盗むこと

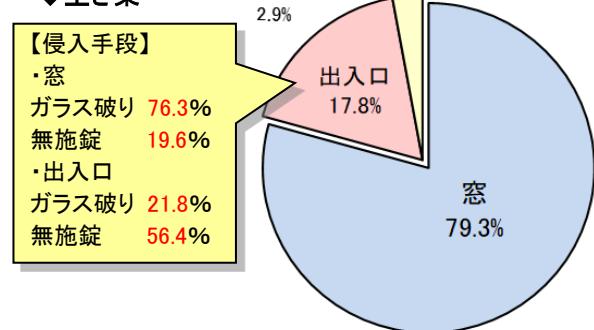
※ 住宅侵入窃盗の人口10万人当たりの認知件数(犯罪率)は、20.0件で全国ワースト2位
(1位 群馬県 26.0件)となっています。

● 特徴

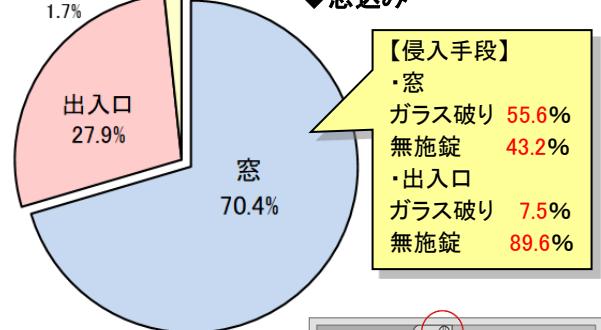
【侵入手段・箇所】



◆空き巣



◆忍込み



防犯メモ

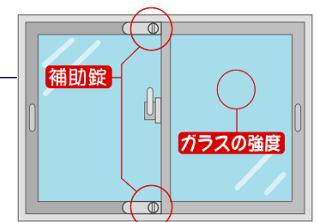
夜間、就寝時間帯を狙った忍込みが増加しています。在宅時も玄関や窓を施錠しましょう。また、窓の3割弱、出入口の8割弱が無施錠の状態で侵入されています。外出する際は、たとえ少しの時間でも、確実に鍵を掛けましょう。

泥棒は、侵入に時間がかかるのを嫌がります。窓ガラスには防犯フィルム、サッシには補助鍵等の対策を施しましょう。

センサーライトや防犯カメラ、警報器等の防犯装置を活用しましょう。

※防犯性能に優れた「CPマーク」表示のあるドアや窓などを取り付けることも被害の防止に効果的です。

「CP」Crime Prevention(防犯)の頭文字



茨城県警察